

## 学級活動指導案

平成11年10月29日(金)  
2年3組 36名(男17名 女19名)  
授業者 鈴木久雄

### 1 題材名 職業の世界

### 2 題材設定の理由

#### (1) 題材について

職業の多様化・細分化にともない、職業選択の幅が広がるとともに、職業の内容を理解しにくいという現状が出てきた。就学期間も長期化し、少年期の後半まで学校生活を送るという現状にあって、中学生が現実の社会や職業の世界に直接触れる機会が少なくなってきた。そこで、本校では、毎年夏休みを利用し、実際に職場に行き見聞を広め、手足を動かして働いてみる職場体験を実施している。

また昨年度実施した進路学習診断票・進路成熟尺度の結果(研究紀要参照)から、情報活用に関する項目が他の項目よりも伸び悩んでいる結果が得られた。こうした情報活用能力を養うために、コンピュータを使って、自分で調べた職業に関する事項や職場体験の様子をプレゼンテーションする工夫、インターネット上のWebページの閲覧、電子メールによる質問や交流等を考えた。

このような体験や情報の活用により、職業や働くことへの関心と理解を深め、よりよい職業選択の力や望ましい職業観を育てられると考え本題材を設定した。

#### (2) 生徒の実態

現時点では、ほとんどの生徒が高校進学を希望しているが、どこの高校へということになると、まだ具体的に考えていない。将来就きたい職業についても漠然と考えているだけである。4月に「現在興味を持っている職業は?」という調査をした結果は、男子ではスポーツ関係や公務員、設計などの技術関係と答える生徒が数名ずついた。女子では美容関係やデザイナー、教員、保育士と答える生徒がやはり数名ずついた。また未定と答える生徒もいた。

またコンピュータの技能については、1年生の「地球と太陽系」で、自分の興味・関心のある惑星をインターネットを用いてWebページを閲覧し、ワープロで編集するという学習を行った。よって、コピー&ペースト等のマウス操作は理解できているが、キーボードの操作にはまだ慣れていない生徒がほとんどである。

### 3 指導のねらい

- (1) 職業に対する意識を高め、自分の将来の職業選択に役立てようとする態度を育てる。
- (2) 友人の発表を聞くことにより、職業の内容・特色・適性を知り、情報交換をして、より深く職業について理解しようとする態度を育てる。

### 4 指導計画

内 容	時 間
職業とは何だろう	1時間
職業の内容を調べよう	1時間
職場体験の計画を立てよう	1時間
職場体験発表会をしよう	1時間(本時)

### 5 事前・事後指導と生徒の活動

計 画	活動の主体	活動の場	活動・内容	
事前	活動1	全員	学級活動	職業とは何だろう
	活動2	全員	学級活動	職業の内容を調べよう
	活動3	全員	学級活動	職場体験の計画を立てよう
	活動4	全員	帰りの会	体験学習レポート提出・発表者選出
	活動5	発表者	放課後	発表の仕方の検討
	活動6	学級プロ	放課後	役割分担・会の進め方の確認
	活動7	全員	放課後	発表者以外の生徒の発表(掲示)
本時	全員	学級活動	職場体験学習発表会	
事後	活動1	学級プロ	放課後	掲示物の整理等
	活動2	該当者	放課後	進路相談等

## 6 研究主題との関連

### 研究主題

「夢や希望をもち、たくましく生きる生徒」が育つ進路指導  
－学校・家庭・地域が力を合わせ－

### 授業研究部主題

学習内容に興味や関心をもち意欲的に取り組む態度を育成する授業の工夫

### 生徒会活動部主題

生徒が主体となって意欲的に取り組む生徒会活動の工夫

### 地域連携部主題

家庭・地域の教育力を生かす連携の工夫

### 資料調査部主題

情報収集と資料化の工夫

### 相談部主題

自己理解を深め、目標の達成に向かって努力しようとする意欲や態度を育てる支援・援助の工夫

について、生徒たちはすでに職場見学をはじめさまざまな活動を通して夢や希望について誰もが何らかのものを持てるようになってきている。今回、実際に職場体験学習を行ってみて、また、人の発表を聞くことにより、夢実現に向けての意欲が高まってきている。

について、創意工夫のある友達の発表を見たり聞いたりすることで、自分の体験と比較できる。そうすることにより、生徒の興味・関心を高め、意欲的に活動に取り組ませたい。

について、授業で使う資料や本時の司会進行などを代表生徒に行わせたり、各生徒に個に応じた活動をさせることにより、生徒主体の授業を実践させたい。

について、保護者からの協力をいただくことで、進路選択に関する親子の話し合いのきっかけづくりにしたい。

について、一人一人が職場で体験してきたことを発表したり、紙に書いて掲示したりすることで、職場に対する意識を高めていきたい。

について、事前や事後の進路相談を通して、全体の指導を個人レベルにまで下ろし、本時のねらいの定着を図りたい。

## 7 同和教育・3あい運動との関連

- (1) 個々の意見を尊重し、互いに認め合う態度を育てる。(連帯と協調)
- (2) 友達の発表を聞き、話し合い、質問し合うことで、新たな発見をすることができる。(学びあい)
- (3) 学習活動の中で、助け合い、励まし合いながら活動できる。(励ましあい)

## 8 本時の指導

- (1) 本時のねらい
  - ・いろいろな職場での体験について情報交換することにより、個人では得ることのできない各種の職業における勤労や苦労、心構えなどの幅広い経験を理解させる。
  - ・進路選択に、主体的に取り組んでいこうとする態度を育てる。  
(意思決定能力……生き方選択能力)
  - ・コンピュータというメディアを利用し、プレゼンテーションの工夫や情報を検索し、活用する能力を育てる。  
(キャリア情報探索・活用能力……キャリア情報活用能力)

- (2) 展開(別紙)